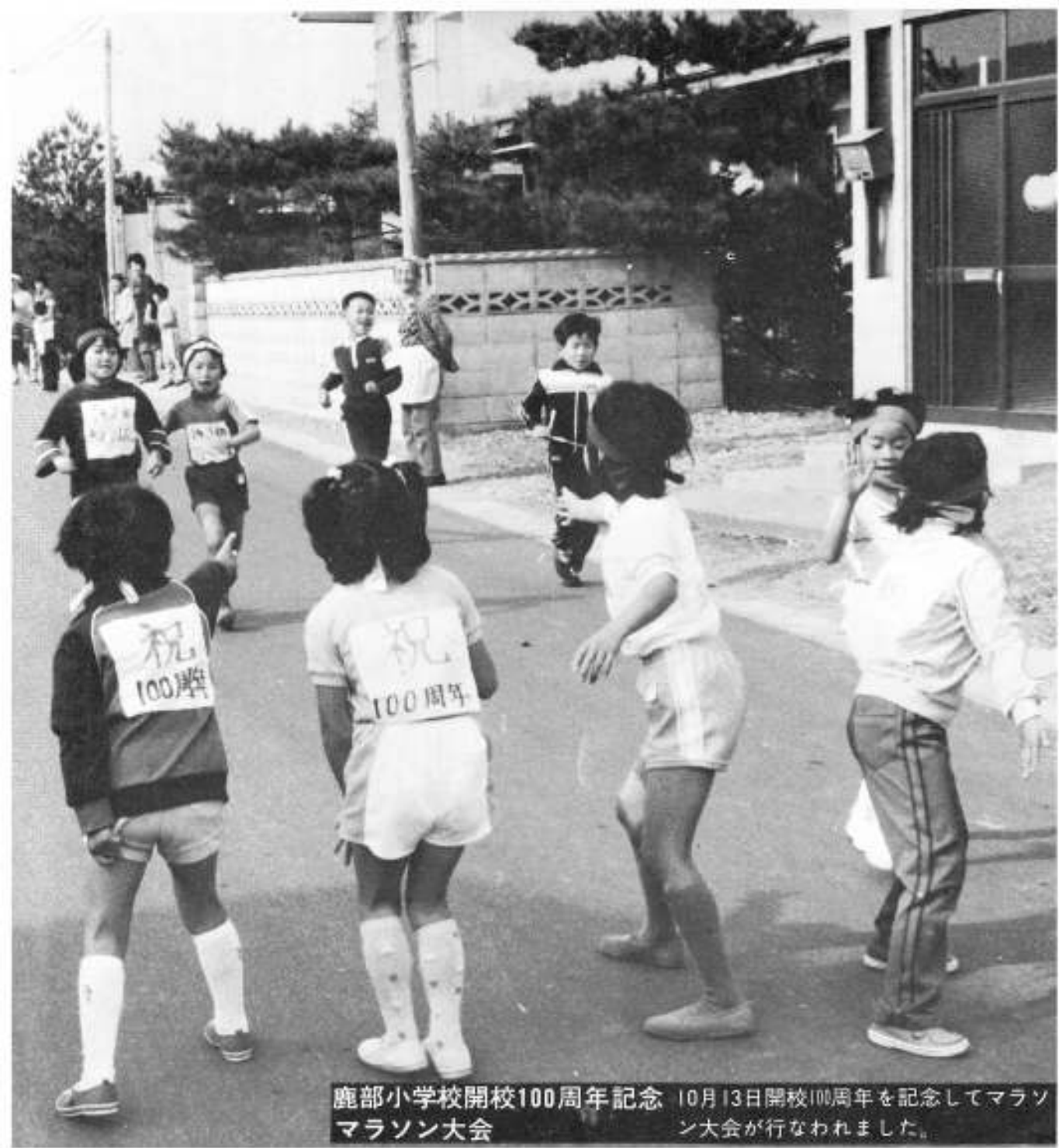


'81 11月

No. 148号

鹿部



鹿部小学校開校100周年記念 10月13日開校100周年を記念してマラソン大会が行なわれました。

# 鹿部小学校開校百周年 記念式典挙行

鹿部小学校は、明治一四年一月二日公立の学校となつて以来今年で一〇〇年を迎えました。

小学校では開校一〇〇周年を記念してマラソン大会、駅伝大会

仮装パレードといろいろな行事を行なっていますが、一〇月一七日鹿部小学校開校一〇〇周年記念式典が挙行されました。



## 祝開校百周年



協議会長（川村村長）挨拶

一〇月一七日、小学校体育館において、鹿部小学校開校一〇〇周年記念式典が行なわれました。鹿部村の教育は、明治四年四月（一八七一年）秋田県出身、時の教育先駆者である高橋松之助氏の手によって、読み、書き、ソロバンなどを教えるため、私設の教育所が開設され、後に公設の学校認可を受け、明治一四年一月一七日（一八八一年）に旧金所を校舎として鹿部学校を開設した事が始まりであり、今年はこの年から数えて一〇〇年目にあたりこれを記念して行なつたものです。

職員（五年以上）、特別寄付者、篤志寄付者（学校用品等）、歴代父母と先生の会会長（九〇周年以降）、父母と先生の会役員（九〇周年以降）に感謝状と記念品が贈られました。

次いで、受賞者を代表して滝村虎雄さんが挨拶し、続いて、船橋議長、渡島教育局長、山崎教育委員長、同窓生を代表して古村敏男さん、小玉小学校PTA会長が挨拶を述べられました。

式には、全校を代表して、五、六年生が出席し、よろこびのことばと、「一〇〇周年記念賛歌を唄い、「決意を新しくし、二世紀への第一歩を力強くふみしめる」と誓い閉会しました。

引き続き公民館において祝賀会が催されました。



同窓生を代表して古村さんが祝辞

## 開校百周年記念讃歌

作詞 野口 淳子  
作曲 阿部 哲治

「赤いなすま ひびかせて  
静かにたたくむ 鹿部の町に  
吹き出る火の粉の駒ヶ岳  
渡島の海に 舞い落ちる  
春夏秋冬 季節は過ぎて  
開校百年 小学校  
海より遠く なりひびく  
開の香りの 鹿部の町を



開校百年讃歌をうたう児童

## 感謝状を受けた方々 (敬称略)

## ○歴代学長

第24代学長 滝 村 成雄

第25代学長 長谷川 淳

第26代学長 佐川 乾

## ○永年勤続教職員(5年以上)

後藤 慶彦 福井 等、木元

武夫、阿部 勇次、近藤 俊

行、長川 健一、野村 直美、

西田 清和、大井 洋一、樫

上 美緒子、山口 緑郎、中

村 順一、美南 典子、宝金

仁三郎、多賀谷 賀、谷内

博、坪川 英司、柳崎 房子

鎌田 光子、上野 真広、中

村 健一、神原 盛至、中沢

誠一、島山 光義、須川 マ

リ子、堀田 昌伝

## ○特別寄付者

伊藤 里子、大沢 喜代治、

川村 清、川村 太一、山口

島男、川村 光高、北川 能

光(村外)、木村 幸雄、黒

田 健也、小坂 忠次、岩井

一雄、沢田 義彦、佐藤

晴一、佐藤 友一、清水 広

興、田村 正広(村外)、田

中 哲夫(村外)、松谷川

幸雄、船橋 竹次郎、松川

栄治、道場 登、宮本 利明

手利 武藏、根本 五郎男、

千葉 光夫、吉 庄作、渡部

良次、鹿部善堂協同組合、鹿

島信用金庫鹿部支店

## ○篤志寄付者(学校用品等)



歴代PTA会長



PTA役員



特別寄付者

川村 豊二、川村 清、伊藤

次雄、岩井 久子、鹿部清業

協同組合、鹿部村母と女教師

の会、道南冷蔵株式会社、吉

建設株式会社

## ○歴代PTA会長(90周年以降)

山崎 篤也、工藤 基三、

## ○PTA役員(90周年以降)

相沢 寿々子、浦 梅吉、大

沢 喜代治、大沢 喜代次、

河辺 良次、木村 郁子、小

玉 日本、佐藤 克之、杉田

賢一、種崎 利男、竹波 健

三、根本 晃、平沢 由利子、

松本 寿枝子、皆川 貞子、

村田 昇、毛利 武藏、山根

清次、古田 朗、若山 正真、

百周年記念式典よびかけ  
晴れわたった 秋空のもと

大きく 広がる 太平洋

くつきり そびえたつ 駒ヶ岳

私たちは 今、ほくたちは 今

鹿部小学校 百周年を

むかえました

明治一四年 鹿部小学校の

かがやかしい歴史は

ここから 始まりました。

創立をつける鐘の音が しずかに

村にひびいた あの日から

私たちの

ひいおじいさん ひいおばあさん

おじいさん おばあさん

おとうさん おかあさん

そして おにいさん おねえさん

たちが 休むことなく

学びつづけてきました。

心をもやしつづけてきました

雪どけのドロドロ道を わらわつ

やアタで通いつづけた 春の日

かすりの着物に ふるしきつづみ

こしにおにぎりをつまむつづみ

折戸の浜を通った 夏の日

ストロブのない教室で

手をこすりながら本を読んだ

冬の日

いまのめくまれた私たちには

ゆめのようなことばかりです

鹿部の空を 翔くおれた

駒ヶ岳の大噴火

多くの卒業生が死んでいき

落ち着いた船団のできなかつた

太平洋戦争

校舎が ほとんどこわれた

一五号台風

それにもめげず 私たちの未来に

ゆめをはぐくんできた

新しい校舎

かすかすの思い出を

かたり伝えてくれた

鹿部小学校 鹿部小学校

鹿部小学校百年の歴史

それは 高い理想をかかげ

美しい心と たくましい体を

きたえ はぐくんできた

先生方の努力が つくり

上げてきたものです

鹿部小学校百年の歴史

それは 嵐雪の海にいどみなが

ら 鹿部を切り開いていった

村の人々の たくましい力

が つくりあげてきたも

のです。

美しい村 鹿部

豊かな村 鹿部

未来のある村 鹿部

いま 私たちは

「輝く歴史 百年のきずな」を

しっかりと 心にきざみ

いま はくたちは

「校風をきたえ 二世紀を開く」

ことを誓い

しあわせにみちた よろこびの

日ざしの中を 決意を新しく

その第一歩を カブよく

ふみしめます

鹿部小学校は 水道です

鹿部小学校は 永遠です。

# 鹿部消防署が初優勝

## 消防職員訓練大会 鹿部消防署で開催

昭和五十六年度鹿児島県消防事務組合職員訓練大会（砂原、鹿部、南茅部、横法華、尻内、口井）は、十月五日悪天候の中で開催されました。この訓練大会は、日頃の職員の救助技術を競うもので、毎年、想定を変えて各署持ちまわりで行なわれてきましたが、鹿部では初めてのことであり、応募者も来賓も多数集まりました。

今年の想定は、低所（廊下など）に落ちた人を下に降りて上まで救出するという、しかも途中、有毒ガス発生場所があり、一刻も早く救出しなければならぬという想定であります。これらの訓練は人命救助活動に必要な技術と知識を養い、隊員相互の協働心、体力、気力の練成を図ることを目的としております。

前年度優勝隊の南茅部消防隊より、優勝旗の返還がなされ、管理責任代行鹿部村長のあいさつがあり、選手宣誓には地元鹿部消防署の司令補 木村 修 指揮者が力強く宣誓を行ない、競技開始となり、一番くじの南茅部消防署が号砲と共にスタート、ロープを渡過し、谷越えをし、さらに崖下に一、二番員の選手が降り、腰に命綱を、足にロープを巻きつけ、空気呼吸器を着装して、要救助者を狭い有毒ガスの発生する廊下をくぐり抜け、着衣を取りのぞいて、二人で抱きかかえて搬送、上に引き揚げるため、二番員が登り、続いて要救助者が上にいる二人に引き上げられ、脱出、つづいて、残る一番員がロープで自力で登り全員脱出、ここまでのタイムを競うもので、南茅部が終り、鹿部署が始まる頃には音をたてて雨が降り出し、滑る足

元のハンゲを乗り越え、二位の南茅部消防署、終得点三三八点三分二秒をおさし、二分五十五秒の好タイム総得点二四五点で鹿部消防署が初の栄冠に輝いたもので、消防が六ヶ町村構成により、この訓練大会を始めて過去六年の間、南茅部消防署が連続優勝していたもので、V7にストップをかけることができました。

昨年も雨に泣かされ、惜しくも準優勝、今年こそその意気に燃え、指揮者以下四名が各持場を確実にこなすことから連帯の和となった成果といえるのです。

おめでとどう！鹿部消防署レンジャー隊に拍手を送り、今後、ますますの体力の練成と技術の練磨に励み、めざす来年の訓練大会V2を期待します。

また、大会途中からの音をたてての雨は、訓練とはいえずに想定した事故が発生する場合は悪天候であるので本番さながらであり、この訓練が実戦に即応できることを証明しました。

### ▽鹿部消防署隊

指揮者 司令補 木村 修  
一番員 消防士 荒木 保安  
二番員 消防士 伊藤 政明

三番員 消防士 山上 裕之  
要救助者士長 木村 昭夫  
▽大会成績

優勝 鹿部署 二分五十五秒  
二位 南茅部署 三分〇二秒  
三位 戸井署 三分二二秒  
四位 尻内署 三分二五秒  
五位 横法華署 三分三三秒  
六位 砂原署 四分〇〇秒  
一八〇点

## 広報しかべ



鹿部消防署隊メンバー



消防ポンプ自動車  
が  
配備されました。

鹿部消防署に、ポンプ自動車が一〇月一四日配備されました。配備されたポンプ車は、七人乗り、七〇〇cc、一七〇馬力で放水能力が一分間に二、三トンのディゼル車で、価格が、一三九五万円です。

これは、昭和五六年度消防行政重点施策の一つでありまして、この配備により、消防署には、タンク車一台、ポンプ車一台、救急車一台、広報指令車二台と万全の体制となります。更に、第一分団には、ポンプ車一台、第二分団には、第四の各分団には、積載車が各一台、可搬小型動力ポンプが各一台ずつ配置されております。

今後、ポンプ車は、タンク車と並び火災の際は、初期消火に威力を発揮することになります。



配備されたポンプ車

発明くふう展で各賞受賞  
全道展へも出品

第27回函館市児童生徒発明工夫展が、10月15日から函館九井デパートで開催され、鹿部小学校からも多くの作品が出品されました。審査の結果、五年、松本勝則くんの「一八〇度観測のできる星座観測器」が函館商工会議所会頭賞を、一年、盛田さみえさんの「ピジョン」はねるふしぎなものの牧場」がNHK賞を、鹿部小学校が学校賞を各々受けました。

又奨励賞を四人、入選が二人、計八人が受賞され、そのうち特別賞の二作品と奨励賞の二作品が、全道展へ出品されました。

## 特別賞

〇函館商工会議所会頭賞

「一八〇度観測のできる星座観測器」(全道展出品作品)  
五年 松本 勝則

## 〇NHK賞

「ピジョンはねるふしぎなもの牧場」(同)  
一年 盛田 さみえ

## 〇学校賞

鹿部小学校

## 奨励賞

「磁石で引き出せる書類カッター整理箱」(全道展出品作品)  
五年 福地 光博



## 入選

「照明できる筆入」  
五年 柳谷 英俊

「地震警報機」  
五年 伊達 正雄

母と子の  
会話

「身近な材料で作った救助具」  
五年 長谷川 智紀

「電車の電源装置」  
五年 田中 雄

「みんなで作る鉛筆けずりのついたゴミ箱」  
二年 島山 大幸

いまの子供は、わがままで、がまんすることが苦手だと、よく言われます。

わがままとは、ふつう、感情で利己主義を強く、自分本位の身勝手な行為や心理を言います。そして、自分の思い通りにならないと、カンジヤクを起こして泣いたり、乱暴をはたいたりします。

このようなわがまな性格は、親の過保護、甘やかされて育った子供に多いと言われます。

親にしてみれば、かけがえのない子供という意識が先行し、子供のためなら何いっばいのことをしてやろう、子供が喜ぶのなら何でもさいてあげようといった気持ちや、やもすると、子供の「ごきげんとり」に終始してしまうのです。

二うう子供は、何でも思い通りになる。親の心はよく理解できても、同じ年ごろの友だちの気持ちはなかなか理解できません。

その結果、子供たちの間では

わがまま

わがままと自己主張の区別を

利己主義が強すぎて、協調性を欠き、みんなと一緒に仲よく遊べなくなったりします。

このようなわがまの子のわがまに困りぬいて、お母さん方の多くは、支配的、抑圧的な態度で一方的におさえつけるようになりがちです。

そのため、子供にしてみれば自分の欲求不満を心の奥深く押しかくし、表面的には親に気に入られるようにながらも、かなり屈折した心理状態にならざるをえません。

気をつけたいのは、わがまな利己主義と正当な自己主張を区別して受けとめてやることです。

頭ごなしにしかる前に子供の言い分をよく聞いて、納得できるところは受け入れ、わがまな面は話し合いを通して子供にわからせるようにすることが大切です。

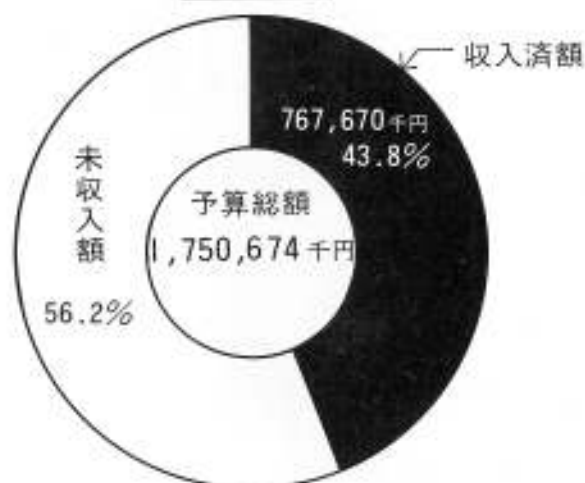


子供が、その場の状況に添って自分をコントロールすることができるようになるのしつけに気をつけたいものです。

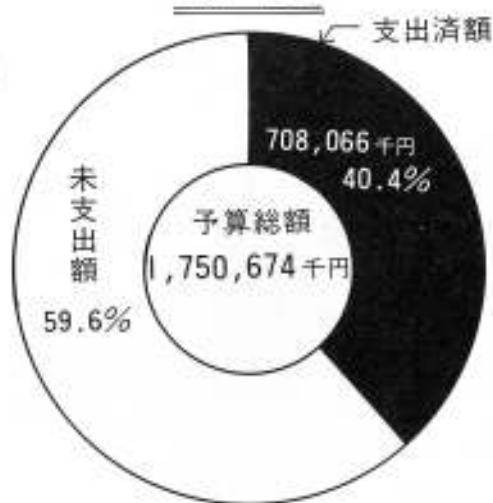
# 執行状況(56年9月末)

地方自治法・地方公営企業法の定めるところにより、昭和56年度予算の昭和56年9月末現在の歳入、歳出に対する収入及び支出状況を公表いたします。

## 歳 入



## 歳 出



9月末現在の一般会計予算の総額は、17億5,067万4千円で当初予算に比べ1億6,127万2千円の増加となっております。

宮浜ハマナス団地附近の皆さん、おまちどうさまです。11月中旬より、通園、通学路としてご利用できます。



**宮浜9号線** (道々〜ミンク場横)

本別地区の皆さん、おまちどうさまです。12月上旬より、ご利用できます。

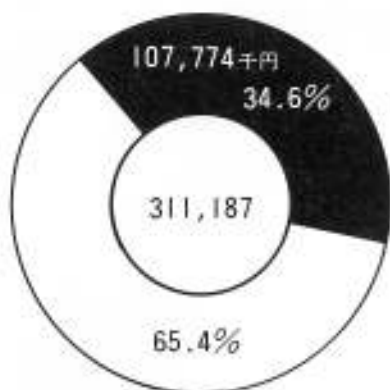


**本 別 会 館**

# 56年度予算の

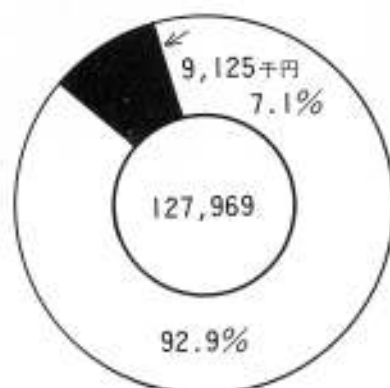
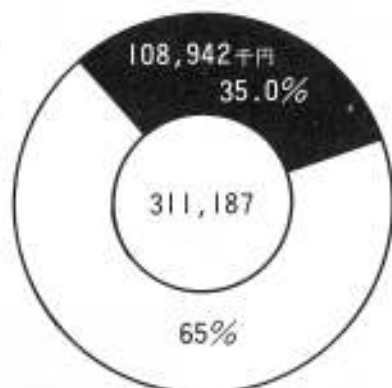
歳入

歳出



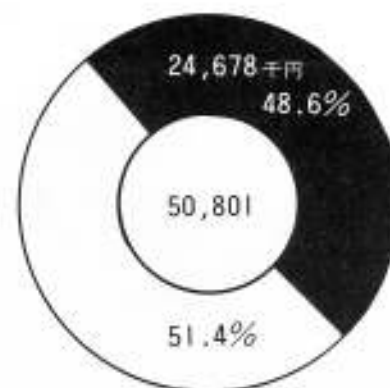
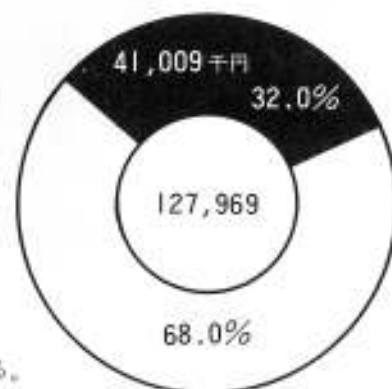
## 国保会計

歳入の不足分は、  
一般会計より、  
5百万円の一時運用  
(借入)で、補てんしている。



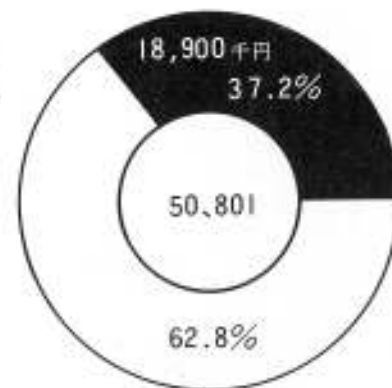
## ミンク飼育事業会計

歳入の不足分は、  
一般会計より  
1千6百万円  
水道会計より  
1千万円  
歳入歳出外より  
1千万円  
の一時運用で補てんしている。



## 水道会計

ミンク会計への1時  
運用は、流通資産よ  
り、貸付している。



# カメラ・アイ

## 村民演芸の夕べ

10月10日、中央公民館において「村民演芸の夕べ」が開催され、約四〇〇人の観客を前に、各町内会代表15人が生バンドをバックに、白まんこのノドを披露いたしました。

慎重審議の結果次のように各賞が決定しました。

- ・村長賞 高田 昭子
- ・議長賞 佐藤 良一
- ・漁協組合長賞 工藤 敏三
- ・商工会長賞 吉田 勝久
- ・連合町内会長賞 富家 敏彦



さわやかな唄  
いっぷりにす  
ごい拍手でし  
た。

「すさま風」を杉良太郎とは、一味ちがいさわやかに唄いあげ場内いっぱいの拍手を受けました。



堂々とした唄い  
つぷりで見事村  
長賞でした。

「二人酒」をしつとり唄い、堂々としたステーションナーとあわせ見事村長賞となりました。



「あなたのバラード」、でも伴奏がもうチヨツトだったネ!!

「あなたのバラード」をカッコ良く唄いましたが、バンドがもう一つでした。



花束をもらったの私だけよ

出演者15人だけど、花束をもらったの私だけよ!!



感情たつぷりです。

「二人酒」を感情たつぷりと唄いました。



「火事だノ」入所者を避難させろ

リハビリの火災避難訓練では、入所者を避難させました。なかなかテキパキとして、ふだんの成果を発揮しました。

〈9月29日撮影〉



「火」つてなかなか消え  
ませんね。

リハビリの火災避難訓練のあと消火器を使って火を消す訓練を行いました。

〈9月29日撮影〉





## 開校百周年記念 マラソン大会

10月13日鹿部小学校では、開校百周年記念マラソン大会を行いました。



沿道ではすごい応援でした。

沿道ではすごい応援で、自転車で選手について行く人、自動車でも先回りする人等が多数いて、走りがいがありました。



折り返し点よ、あと半分あるわ  
三味線焼酎の折り返し点、でもあと半分あるんだわ。

### ゴールイン

ついにゴールインです。もう少し走れるぞ、ボクは！

### 開校百周年ネ兄マラソン



マラソンはきつい

ですネ

ゴール寸前、みて下さいこの表情、力いっぱい頑張りました。



先生しばらくでした。

鹿部小学校開校百周年記念式典には、小学校で教壇に立ったなつかしい先生が多数出席されました。あなたの恩師は、いませんか？



### バスの乗降訓練をしました

幼稚園では、バス通園児が多いので、バスの乗降時の事故をなくするよう交通安全教室を開催し、乗降訓練をしました。

（10月8日撮影）



### ウン、いいスケツソだ！！

（10月12日撮影）



カギの再点検を…

これから年末にかけて空き巣の多いや、ひったくり犯の、かせぎ時です。

空き巣の多いから家を守るには、カギをかけることです。

「何だ、簡単だ」と思われる方もおられると思いますが、これが意外とできていないのです。

空き巣の多いの、「仕事」の時間は、なんと三分から五分くらいだそうです。

五、六分の買物だからと気を許すのは禁物です。

お出かけは、カギをかけることはもち論、隣り近所にもひと声をかけることもお忘れなく。

森警と防犯協会では、一〇月一六日折戸川団地一帯の防犯点検をしました。カギは不備なものが多かったようです。お宅でもこの機会にカギの再点検を。



おしり寄付

おしり寄付

▽ 九月二十四日、柳太三遺贈冷蔵より、小学校に十萬円のおしり寄付があり、傘立二十個を購入しました。

▽ 九月二十九日には岩井一雄氏よりアップライト（縦型）ピアノを買って下さいと、中学校に四十六万八千円をおしり寄付いただきました。

▽ 十月一日には東京都の郷邦親光園遊協会、伊藤英一氏より小学校高学年の児童にノートのおしり寄付がありました。

御寄付により購入した用品及び寄贈品は、大切に使用して頂きます。本当にありがとうございます。



秋の全国火災予防運動  
11月26日～12月2日

## 応援します、ゆとりある人生 事業主の退職金制度 小規模企業共済

〈小規模企業共済制度〉は、いわば国がつくった事業主の退職金制度です。月々、掛金を払い込んでいただくことによって、事業をやめたり、役員を退職したときなど第一線を退いたときに法律で定められた共済金が支払われます。

### 制度の特色

- ▷掛金は全額が所得控除 掛金は全額が小規模企業共済等掛金控除としてそっくり課税対象所得から控除されます。また前払いした1年以内の掛金も同様に控除されます。
- ▷共済金等は退職所得扱い 共済金等は退職所得として取扱われますので控除額が非常に大きくなっています。
- ▷安全・確実 共済金の額およびその支払は法律によって定められておりますので安全・確実です。
- ▷貸付制度 加入者（一定の資格者）には、その積み立てた掛金の範囲内で即日貸付けが受けられる簡便な貸付制度があります。

●お問い合わせは

この制度のくわしいことは、庶部商工会経営指導員におたずねください。



工藤会長

第3B町内会は、リハビリのある湯ノ沢公営住宅団地と一般住宅敷戸の計二四世帯で構成しています。

われらの町内会は、板の上の一帯であり、又公営住宅入居者もリハビリ勤務者が殆んどであるため、お互い気心が知れているせいか、誠にまとまりのよい町内会であります。

従いまして、町内会の諸事業や行事の際は、みなさんがよく協力して下さいます。

今年は、春に村道わさへ、道路

はきれいに、「物産博覧会」でするなを空カン」等のミニ看板を立てましてその効果は非常によい様です。

又、他の町内会同様に祭りには子供のたるみこしを出しまして、子供会の会計をうるおし、子供会の諸事業におてています。

子供会は、非常に活発であり、夏には、毎年キャンプに行っており、熊石町に二回、今年は、大沼へ行ってました。春には、函館山へスケッチに行ったりして子供たちも毎年これらの行事を楽しみにしています。

このように、われらの町内会は、行事、諸行事を行ないながら、会員の親睦を深め、よりよい町内会づくりにとりくんでおりますが、リハビリには大変お世話になっております。

これからも会員の親睦をより深め、町内活動を活発にし、明るく正しい子供を育成するよう努めて参りたいと思っております。

会長	工藤 輝光
副会長	飯田 常光
書記・会計	小野 秀実
青少年部長	佐々木 博史
婦人部長	岩瀬 和美
体育部長	原田 和明
新生活部長	榑 沢三
交通部製長	赤沢 安雄
環境部長	小山 清造



たるみこし記念撮影

すてろる望かん  
きこつけて  
る正日町内会

道路はいつも  
きれいに  
る区B町内会

効果のあるミニ看板



高血圧

## 保温に十分注意を



寒さは高血圧の敵。十一月——これから日増しに寒くなります。

高血圧の方は、保温に十分注意しましょう。冷えや寒さは血管(動脈)を収縮させ、血液の流れを悪くします。

心臓は、血液を全身に送り届けるポンプの役目をしていますが、血液の流れが悪くなると、心臓はその分よけいに圧力を上げなければなりません。このような状態を高血圧といえます。



高血圧は心臓に負担をかけることはもちろん、動脈硬化を促進し、脳卒中などの原因になります。

寒さは高血圧の敵。と心得て、保温には十分気をつけましょう。

外出時は、一枚余分に重ね着をするとか、帽子や襟巻きを身につけるなど、きま細かな心遣いが必要ですよ。

室内は、どこも、一定の温度に

しておくのが理想的で、とくに台所やトイレ、ふろの脱衣場などの保温に気を配りましょう。もう一歩、積極的な保温対策として、適度な運動と乾布摩擦をおすすめします。

運動は、自分の体力を考慮して無理をしないようにし、たとえばラジオ体操や散歩など、毎日一定時間続けることが大切です。

運動は一時的に血圧を上げますが、体に無理でない限り血管の緊張をほぐし、血圧を下げる作用をします。しかし、突然、思い出したように激しい運動をするのは百害あって一利なし——たいへん危険ですよ。

一方、乾布摩擦はタオルなどを使って、心臓に近い手足から徐々に心臓部に向けて皮膚の表面をこすります。

五分間なら五分間、毎日欠かさず長期継続すると、寒さに対する抵抗力が付き、少々の寒さにも血圧はビクともしなくなり、寒さに負けない体づくりを

